

小学生対象の電子回路ペンを使ったワークショップ実施プロジェクト



書くと光る電子回路ペンとの出会い

相模原市印刷広告協同組合では、毎年

五月に小中学校など諸団体の広報委員の方々を対象に広報誌づくりの基礎を学ぶ講習会を無料で開催しています。今年度で二二回目を数えますが、今年度初めての試みとして、講習会に参加された保護者の子どもたちを対象に「電子回路ペン」を使って電気の通る仕組みを実験・体験するワークショップを企画し、本学と協働して五月十六日(土)に開催しました。

また、九月十五日と十六日両日にわたり、相模原市立相原小学校の六年生二クラスの理科の授業で日本初となる電子回路ペンを使った授業を三时限担当し、子どもたちと実際に実験・体験しながら電気の通る仕組みを学びました。



おっ！とびっくり書くと光る電子回路ペン

十一月十四日、十五日に開催された本学のKVA祭(学園祭)では、子どもたち(幼稚・小学生)、本学学生、地域の方々が楽しみながら体験できる「電子回路ペン」ワークショップブースを設置し、約一〇〇〇人の人たちに参加していただくことができました。プラネタリウムのような暗いおうちのコーナーでは、暗がりで光るLEDの鮮やかな光に子どもたちから感動の声が上がりいました。

プロジェクト概要

- テーマ
小学生対象の電子回路ペンを使ったワークショップ実施プロジェクト
- パートナー
相模原市印刷広告協同組合(SOIN)
- 担当教員
田尻さやか 助教、長谷徹 教授
(現代生活学部児童学科)
- 実施期間
平成27年5月～平成28年3月